２０１０年
7・8月号

TOKYOタイムス
トキオ

NO. ９７
岩本工業（株）

ホームページ http://www.iwmt-kg.co.jp/　　Eメール:iwamoto@iwmt-kg.co.jp

「 禍 福 はあざなえる縄の如し 」

Ｈ２２年６月吉日　　岩本　博之

昨年の５月はリーマンショックの煽りを受けて、その一年前の売り上げに比べ**８５%減**という厳しい局面に立たされました。トキオタイムNo.９５(H２２年3・4月号)では７５%減と表現し、それは金融機関関連への配慮も含めた平均値です。その後は３・４・５月に渡り急激な売り上げ回復で**８０%に復活**し、中身は従来品５０%、新規受注３０%・・・、鉄工業界平均の戻りは５０%ですから順当な数値のように思えますが内情は社長就任以来の**ピンチ**となりました。新規品は受注価３０～４０%減をクリアし、短納期対応は深残業や休日出勤で何とか凌げましたが、大底だった従来品が２～３倍増と重なり生産部門が大混乱に陥りました。更に追い討ちをかけるように素材の支給品遅れや不良品(社内発見)が山積みとなり４月下旬より**退職者や不満**が続出しました。一年半のトンネルをやっと抜け出した、と思って安堵していた矢先に・・・。我が社は技術者の育成に励み技能士２級取得には４～５年、更に１級３～４年。特級取得までには１５年前後の現場を踏まえた研鑽が必要です。スキルマップを見てもフォークリフト・玉掛け・クレーン資格取得者は９割前後。昨年の初夏以降にはＱＣ２級検定の合格者６名、３級取得者３０名という晴れがましい数字を残し、一蓮托生の思いで励まし合って来たのですが残念至極です。 緊急対策としてハローワークや人材派遣への求人の結果は一ヶ月で５０人余りの応募者、内訳は平均年齢３５才、転職は７～９回。定着して初めて技術が培われる技能者は皆無でした。私自身は心身ともにタフさを自負していましたが、反省しきりで初めての挫折感を味わい、「**独り善がり**」の勘違いを気づかされております。

「テーマトーク」（言いたい放題）を１５年間欠かさず行いながらも、本音を聞くと“参加が重荷”“お酒が苦手”“近場が良い”“平日だと仕事に後日負担が掛かる”・・・Etc　。私とすれば６人単位で年間１０数回前後、全社員との会食を通じてお互いに得るものが有る(理解を深められる)と思い込んでいました。しかしながら**全社員対象**がポイントなので一人も欠ける事無く永続して実施出来る方法を模索します。

「純血主義」正社員だけの構成で機械の夜間無人稼動や一ヶ月７００時間稼動に関しても見直さざるを得なくなりました。**多種少量生産**の効率化は小企業にとって小回りを生かす唯一の武器で有る事は間違いなく、２年前までは通用した方針も更なる多様化に対応する為には期間社員や外人労働者を登用しなければなりません。その人材を社風に馴染ませる労力を惜しまず、従来の**四角い枠**に押し込める事無く８～**１２角形**の柔軟性のある、より個性を尊重する**自由闊達な社風**をアメーバーの如く再構築する為に脱皮します。

7月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

石川県　中小企業技術交流展

主催　石川県産業創出支援機構
5月19日～22日　産業展示館２号館

じゃんけんロボ『AIMO(アイモ)君』

組立課 課長　　篠嶋

『子供の喜びそうな展示品を交流展に』との思いから始まった企画で、真っ先に思いついたのは動くものでした。次に考えたのは、ただ動いてるだけでなく何らかのアクションを加え、それに反応するもの。という事で一番ポピュラーなジャンケンをするロボットハンドの製作を考え、図面を書き簡単なデモ機をすぐに製作して社長に提案しました。

『面白そうじゃないか、やってみろ、但しあんまりお粗末な物だったら出展するなよ』と言われ、安堵とプレッシャーの複雑な心境でした（苦笑）。シリンダーでワイヤーを引っ張って指を曲げる構造にしましたが、試運転中にワイヤーが切れたり伸びたりで思うようにいかず、展示会でも３日間の内に３回もワイヤーが切れるトラブルがありました。しかし予想以上に来場した子供たちが**AIMO君**とジャンケンをしていってくれた事が救いでした。同じ会場に福井県立恐竜博物館の恐竜を製作している株式会社ココロさんの漫才をする恐竜が展示してあり、スケールの違いに圧倒されましたが、『千里の道も一歩から』今年より来年、来年より再来年と良いものを出展していければと思っています。最後になりますが、出展に当りご協力して下さった方々、ご来場頂いた皆様有難うございました。

MEX 金沢2010

今春入社
第１係　　池田

岩本工業は、会場入口のすぐ前にジャンケンのできるロボットアームを出展しており、子供達を中心に人が集まっていました。他にも協力企業さんのブースなどを見ながら、この製品はどうやって作っているのかなと考えながら見学しました。 同時開催されているMEX金沢の方にも足を運びました。どのメーカーも独自の製品を展示しており興味深いものばかりでした。特に旋盤のブースでは今まで見たこともないようなすごい機械が並べられており、その動きに感動しました！

このような最新の技術に触れる機会を大切にし、これからより良い製品を作れるように勉強していきたいです。

。゜：゜・。*゜・。゜：゜・。*゜・。゜：゜・。*゜・。゜：゜・。*゜・。゜：゜・。*゜・。゜：゜・。*゜・。*゜・。゜：゜・。*゜・。

てっこうきでんスクール

６月４日　　地場産業会館
第３係　　有馬

講師 毎田雄一氏による研修会に参加させていただきました。

はじめに「最近の製造業を取り巻く現況」として、年功序列・終身雇用性が揺らぎ「主体性」や「コミュニケーション力」が求められるようになってきた中で、今回の研修は部下を育成し、チームの「全員力を高める会話術」について、部下とのコミュニケーションの失敗、成功例について説明いただきました。その後、グループ別にて討議をしその結果、社員は**「与えられた仕事を責任持ってやり遂げる」**事と同時に**「組織の一員として他の人と協同して良いチームワーク、人間関係を築いていく責任」**も与えられている。良い人間関係を作るには、職場全員の**「お互いに対する気配り」**が必要である。それにはまず、組織のリーダーが率先垂範を示す事が必要です。

日々の仕事において部下を無理やり動かすのでなく仕事を教えその気にさせ、部下の持つ力を発揮させる事が大切と感じました。

今後会社の発展のために後輩の育成に少しでも見本となる先輩として努力して行きたいです。